

# ドクガ

## 皮膚炎を引き起こす虫

市内北西部でドクガの発生が確認されています。

幼虫

春～夏、秋

春～秋  
皮膚炎



### ■ どんな虫？

- ・皮膚のかゆみ、炎症などを引き起こす毒針毛（どくしんもう）をもっています。
- ・体の色は、黒とオレンジの2色です。
- ・キイチゴ、ハマナス、イタドリなどを好んで食害します。
- ・小さいうちは集団で生活しますが、6月頃には分散しはじめ、上記以外の植物も食べるようになります。

### ■ 被害《主に春～夏》

- ・6～7月上旬、空き地の草刈や庭木のせん定中に、幼虫の被害にあうことがあります。
- ・毒針毛が刺さると、数分から数時間でかゆみを生じ、赤く腫れあがります。
- ・毒針毛は、風で飛散するため、離れていても皮膚炎を引き起こすことがあります。



### ■ 対策は…

- ・空き地は、春に草刈をしましょう。
- ・過去に発生したことがある場所は、春先に幼虫が発生していないか確認しましょう。

### 毒針毛がついた時は…

- ・こすらずに、テープなどで取り除き、流水で洗い流しましょう。
- ・時に、全身じんましん症状が2～3週間続く場合もあります。症状がひどい時は、医師の治療を受けましょう。

## 駆除方法は…

駆除を行う時期は、幼虫の毒針毛が未発達で、集団で行動している5月上旬頃が適当です。幼虫は、成長すると薬剤も効きづらくなります。早めの対応を心がけましょう。

### ①直接幼虫を取り除く

幼虫のついてる葉ごと切り取ったり、幼虫を箸でつまむなどして、直接取り除きましょう。

### ②薬剤を散布する

ホームセンターや園芸店、薬店などで「毛虫用」として販売されている殺虫剤を使って駆除しましょう。

### ③熱湯をかける

沸騰させた熱湯を、幼虫にゆっくりとかけましょう。

## ※注意

- ・ 幼虫の死がいにも毒針毛は残っています。薬剤や湯で処理した後も、むやみにその場所に立ち入るのは避けましょう。
- ・ 薬剤を使用する場合は、必ず使用上の注意をよく読み、使用方法を守って、周囲の迷惑とならないよう十分注意しましょう。



## 成虫

7～8月頃



## ■ どんな虫？

- ・ 体長2cm程度。
- ・ 毒針毛をもっています。
- ・ 夜間、光に集まる習慣があります。

## ■ 対策は…

- ・ 被害の多くは、夜間、屋内の照明にひかれて家の中に飛び込んできた成虫の毒針毛によって引き起こされています。必ず窓に網戸を取り付けましょう。
- ・ 万が一室内に飛び込んできた場合、素早く水でぬらした新聞紙などで取り押さえ、押しつぶして捨てましょう。

# マイマイガ類

## 大発生する不快な虫

マイマイガ類は、1年に1度発生するガの仲間です。周期的に大発生を繰り返すことが知られており、マイマイガについては、約10年間隔で大発生を繰り返します。

### 幼虫

春～夏

#### どんな虫？

- リンゴ、ナシ、モモ、シラカバ、ヤナギ、カラマツなどに発生します。
- 若い幼虫は糸を吐いてぶら下がるので、「ブランコケムシ」とも呼ばれます。
- 皮膚の弱い人は幼虫に触るとかぶれることがあります。



マイマイガの幼虫

#### 対策は…

- 箸や火バサミで幼虫をつまむか、幼虫のついてる葉を切り落とし、燃やせるゴミとして捨てましょう。
- 殺虫剤を使用する際は、用法用量を守り、通行人や周辺住民に十分配慮しましょう。

### 成虫

8月頃

#### どんな虫？

- 水銀灯の光や、その光を反射する白っぽい壁を好む習性があり、日中もその付近に留まることから不快に感じます。
- 寿命は最大で10日間で、何も食べません。
- 樹木の根元に卵塊を産み付けますが、異常発生時はどこにでも産卵します。



カシワマイマイの成虫



カシワマイマイの卵

## ■ 対策は…

- 壁にとまっている成虫は、ホースの水で洗い流すことで落とすことができます。
- 殺虫剤を使用する場合は、りん毛が舞い上がることがあります。マスクやゴーグル、手袋などを使用するとよいでしょう。
- 卵を見つけたら、先が平らなもので取り除き、燃やせるゴミとして捨てるか土に埋めましょう。

# イ ラ ガ

## 樹木につく刺す虫

小鳥の卵のようなものが、庭木の枝についているのを見たことがありませんか？これはイラガというガのマユです。

夏  
皮膚炎

## ■ どんな虫？

- ナシ、サクラ、ウメ、リンゴ、ヤナギ、カエデ、クリなどに発生します。

## ■ 被害《夏》

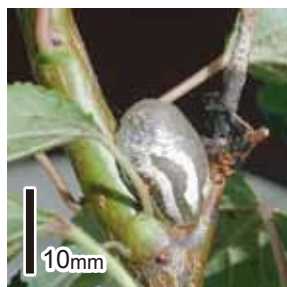
- 幼虫は、7～8月頃単独で葉の裏についているため、気づかずに刺されてしまうことがあります。
- 幼虫のトゲに触れると電気に打たれたようなひどい痛みを感じます。
- 刺された時にはこすらずに、流水でトゲを洗い流しましょう。
- 痛みは2～3日続きますが、大きく腫れることはありません。

## ■ 対策は…

- 冬の間に、木の枝についているマユを取り除くと、簡単に駆除できます。
- 幼虫が発生した場合は、枝ごと切り取って、刺されないよう気をつけて処分しましょう。



イラガの幼虫



マ ャ

# 力 類

## 吸血する虫・病気を媒介する虫

羽音が不快で眠れない、刺されるとかゆいなどの害を及ぼす力類は下水道の普及により発生が少なくなりました。

しかし、アメリカなどで流行している「ウエストナイル熱」を媒介することで、再び注目されています。

### ■ どんな虫？

- 吸血するのはメスの力だけです。
- 血を吸わせると力の唾液により発疹や腫れ、かゆみを生じます。
- 時に、唾液中の病原体により感染症を媒介することがあります。
- 卵は水面に産みつけられ、ふ化してボーフラ（幼虫）となり、鬼ボーフラ（サナギ）から成虫になります。

### アカイエカ

- 汚水だめや雨水ますなどに発生します。
- 室内によく侵入し、夜間吸血します。

### チカイエカ（アカイエカの亜種）

- ビルの地下雑排水槽や地下鉄の側溝などで発生します。
- 低温に強く、ビルの中などで一年中生息することができます。



ボーフラ（幼虫/左）と  
鬼ボーフラ（サナギ/右）

### ヤマトヤブカ

- 雨水ますや鉢の受け皿などで発生します。
- 市内でよく見かけるほか、林の周辺部や林内で吸血します。

### トウゴウヤブカ

- 海岸の潮だまりで発生します。
- 脚に 6 本の白帯があり、昼夜を問わず吸血します。



イエカ類



ヤブカ類

## ■ 対策は…

- ・外に置いた空き缶や、古タイヤなどにたまった水からでも発生するので、これらの物は片づけましょう。
- ・雑草を刈って、カの休憩場所を少なくしましょう。
- ・室内への侵入を防止するため、網戸を設置しましょう。
- ・ビルでは、汚水槽などを定期的に清掃し、通気管などの開口部に防虫網を取りつけましょう。
- ・屋外では、刺されないよう長袖を着用し、事前に防虫スプレーなどをおきましょう。

## 発生した時は

- ・家の周囲に発生源がないかを確認しましょう。
- ・室内に侵入した時は、蚊取り線香などのくん煙・蒸散剤やエアゾール剤を使用しましょう。

## ユスリカ類

## 大発生する不快な虫

どこにでもいる虫で、室内に侵入したり、つぶしてしまうことで衣服を汚し、不快感を与えます。カに似ていますが、刺すことはありません。



セスジユスリカ オス

## ■ どんな虫？

- ・昼間には建物の壁や植物などにとまり、夕暮れになると、蚊柱をつくり、街灯（特に白色光）に誘引され飛来します。
- ・少し汚れた河川や湖沼で、大量発生することがあります。
- ・アレルギーの一因であるともいわれています。

## ■ 対策は…

- ・網戸を取りつけましょう。
- ・室内の光が漏れないよう工夫しましょう。